

# 平成22年度病害虫発生予報第8号

平成22年11月2日  
愛 知 県

## 1 果樹

カキでは、ハマキムシ類による被害が多いほ場があります。またフェロモントラップによるチャノコカクモンハマキ成虫の誘殺数が、10月下旬に増加しました。被害が多いほ場では、越冬幼虫密度を減らすために粗皮削りを行いましょう。

## 2 野菜

ハクサイでは、軟腐病の発生量が多いほ場があります。降雨は発病を助長します。特に長雨や強風を伴う降雨が予想される場合には防除を徹底しまししょう。

キャベツでは、気温の低下に伴い、菌核病の発生が懸念されます。発病後の農薬散布では防除効果が低いので、予防的に防除を実施しまししょう。特に昨年発生が多かったほ場では注意が必要です。オオタバコガは、ほ場での発生量、フェロモントラップによる誘殺数ともやや多い状況です。結球内部に食入すると防除が困難になるので注意し、早めの防除を心がけまししょう。

トマトでは、葉かび病やすすかび病の発生が見られるほ場があります。蔓延を防ぐため、早めの防除を心がけまししょう。黄化葉巻病の発生量は平年並ですが、ほ場での蔓延を防止するため、発病株は抜き取って適切に処分するとともに、黄化葉巻病を媒介するタバココナジラミが施設内で増殖しないよう、防除を徹底しまししょう。

ナスでは、ミナミキイロアザミウマの発生がやや多くなっています。花粉媒介昆虫を使用しているほ場では、農薬影響日数に注意し、防除を行いまししょう。また、うどんこ病の発生量がやや多くなっています。ほ場での発生に注意し、発生初期に防除するようにしまししょう。

キュウリモナスと同様に、ミナミキイロアザミウマの発生量がやや多くなっています。本虫はキュウリ黄化えそ病の病原ウイルス(MYSV)を媒介するので、防除するとともに、ウイルス症状の株は抜き取って適切に処分しまししょう。

イチゴでは、うどんこ病の発生量がやや多い状況です。ほ場での発生に注意し、発生初期に防除するようにしまししょう。ハダニ類の発生量も、やや多い状況です。発生初期に的確に防除しまししょう。天敵を導入する施設で発生が多いほ場では、天敵を導入する前に防除を徹底しまししょう。

## 果樹

### ・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
ウンシュウミカン	ミカンハダニ	やや少ない	全域	10月下旬の発生量は少ない 11月の気温は高い	- +

## 野菜

### ・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
ハクサイ	軟腐病	多い	全域	10月下旬の発生量はやや多い 11月の降水量はやや多い	+ +
	べと病	やや多い	全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の降水量はやや多い	± +
	アブラムシ類	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	コナガ	やや少ない	全域	10月下旬の発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数は少ない 11月の気温は高い	- - +
キャベツ	黒腐病	平年並	全域	10月下旬の発生量はやや少ない 11月の降水量はやや多い	- +
	菌核病	平年並	全域	10月下旬の発生量はやや少ない 昨年の発生量はやや少ない 11月の降水量はやや多い	- - +
	コナガ	やや少ない	全域	10月下旬の発生量は少ない フェロモントラップにおける誘殺数は少ない 11月の気温は高い	- - +
トマト (施設)	葉かび病	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	黄化葉巻病	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	コナジラミ類	平年並	全域	黄色粘着トラップにおける誘殺数は平年並	±
	ハモグリバエ類	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
ナス (施設)	うどんこ病	やや多い	全域	10月下旬の発生量はやや多い	+
	ミナミキイロアザミウマ	やや多い	全域	10月下旬の発生量はやや多い	+

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キュウリ (施設)	うどんこ病	やや少ない	全域	10月下旬の発生量はやや少ない	-
	べと病	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	ミナミキイロ	やや多い	全域	10月下旬の発生量はやや多い	+
イチゴ (施設)	うどんこ病	やや多い	全域	10月下旬の発生量はやや多い	+
	ハダニ類	やや多い	全域	10月下旬の発生量はやや多い	+
野菜共通	ハスモンヨトウ	やや多い	全域	10月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘 殺数はやや多い	± +
	オオタバコガ	やや多い	全域	10月下旬の発生量はやや多い フェロモントラップにおける誘 殺数はやや多い	± +

・防除対策

〔ハクサイ・軟腐病〕

収穫前日数に注意して、アグリマイシン-20、スターナ水和剤、バリダシン液剤5などで防除しましょう。

〔ハクサイ・べと病〕

収穫前日数に注意して、ランマンフロアブル、ダコニール1000、ストロビーフロアブルなどで防除しましょう。

〔ナス(施設)・うどんこ病〕

ジーファイン水和剤、トリフミン水和剤、ベルコートフロアブルなどで防除しましょう。

〔ナス(施設)・ミナミキイロアザミウマ〕

ハチハチ乳剤、ダントツ水溶剤などで防除しましょう。

〔キュウリ(施設)・ミナミキイロアザミウマ〕

ダントツ水溶剤、コテツフロアブルなどで防除しましょう。

〔イチゴ(施設)・うどんこ病〕

ストロビーフロアブル、バイコラル水和剤、ベルコートフロアブルなどで防除しましょう。

〔イチゴ(施設)・ハダニ類〕

ダニサラバフロアブル、マイトコーネフロアブルなどで防除しましょう。

〔野菜共通・ハスモンヨトウ〕

9月1日発表の「ハスモンヨトウ情報第2号」を参照してください。

〔野菜共通・オオタバコガ〕

9月1日発表の「オオタバコガ情報第1号」を参照してください。

## 参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台10月29日発表）

予想される向こう1か月の天候  
東海地方では、天気は数日の周期で変わるでしょう。  
週別の気温は、1週目は平年並または高い確率とも40%です。

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率  
〔気温〕 低い：20% 平年並：30% 高い：50%  
〔降水量〕 少ない：20% 平年並：30% 多い：50%  
〔日照時間〕 少ない：40% 平年並：30% 多い：30%

予想される天候の特徴  
当地方の向こう1か月は、天気は数日の周期で変わるでしょう。  
（10月30日～11月26日の晴れ日数の平年値は約18日）。

### 「農薬使用者のみなさんへ」

農薬散布後は、防除器具のタンクやホースも洗いもれがないようにしましょう。  
飛散防止にこれまで以上に留意し、農薬の適正使用に努めましょう。  
農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。

## E-mail 配信のご案内

予報（病害虫の発生予察情報）、最新情報（病害虫の防除情報等）、注意報、その他情報（いもち情報等随時）等をメール（Word形式）でお届けします。（月2回程度）

ご希望の方は

件名に「E-mail 配信の申し込み」

本文に

氏名、


住所（市町村までで結構です）

職業（例 農薬メーカー、農業）

以上を記入し、病害虫防除グループまで  
メールでお申し込みください。

病害虫防除グループメールアドレス

[byogaichu@pref.aichi.lg.jp](mailto:byogaichu@pref.aichi.lg.jp)



## あいち病害虫情報

E-mail 配信  
2010.9.30

**発生予察情報**

- ・ [予報第7号（10月）](#)  
PDFファイルを使用しています。
- ・ [吸蜜性カメムシ情報第1号（ダイズ）](#)  
PDFファイルを使用しています。
- ・ [調査データ](#)  
トラップ（フェロモン、粘着）及び予察灯への誘殺数のグラフです。  
PDFファイルを使用しています。

[あいち病害虫情報ホームページのトップはこちら。](#)

（リンク先が表示されない場合はCtrlキーをおしながらクリックしてリンク先を表示する）

（連絡先）愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病害虫防除グループ  
電話 0561-62-0085